平成30年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

	1 17000 1 12 1/10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<i>-</i>				
	1. 双声 # 4.					夕 供 奴 弗
事務事業名	通学路整備事業 	一般	8	2	3	0
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室 道路河川整備				
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	貞力	5	女雄	

T 改革·改善内容(:	=事務事業をより良く実施するための方策)

<u>」以中</u>	以合内台(一事仂事木とより及)大肥り句
①前回 の評価 で掲げ た内容	歩道整備に向け引き続き市道1号線歩道 部の用地取得を実施し、市道49号線につ いて修正測量を実施する。
②①に 基づく 取組み 結果	市道49号線の修正測量を実施した。

③平成30年 度に取組む 改革・改善 内容

優先順位を見極めながら、用地取 得を進めていく。

40,500

17,485

Ⅱ 事務事業の目的・概要

①目的	対象	通学路に指定されている市 道	意図(対象をどう するのか)	児童生徒が安全に登下校できるよ うにする。
②事務事	事業の概要	児童・生徒が安全に通学でき おける安全性の向上を図る。	るよう、歩道のな	い通学路に歩道を整備し、登下校に
からの状況	予析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	平成24年度に実施した緊急合 の拡幅や歩道を確保し登下校		策が必要な通学路を抽出し、通学路 生徒の安全を図る。

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①平成業の成	29年度の事 果		系る物件調査及 修正測量を実施						A=4,000m²)		
②成果		指标	票名称	平成27 年度		平成29 年度	単位		算定根拠		
を表す	İ	学校災害	'件数の割合	6.3	6.3	6.0	%	業務耳	文得		
指標	ii	事業費【平成24	4年度からの累割	十】52,437	58,939	65,863	千円	決算書			
	iii	工事延	長【累計】	95	115	115	m	業務耳	文 得		
③事務	事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年	度決算	(事業費	で主で)	な内訳	平成30年度予算		
事業費(千円)	6,502	6,924	金額(干	-円)	内容			113,106		
国女	出全(千円)		1 700		1 458	市道49号網	泉現況修正	測量委託	55 121		

一般財源(千円)

県支出金(千円) 市債その他(千円)

①課題	道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。										
②評価	i 市関与の妥当性		iii公平性	3高い	v 総合評価	7拡充					
	│ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	7 NG CI ET IM 7 NA 7 L						
③上記評価の理由	児童・生徒の道	通学路の安全性	を早期に向上さ	せる必要があ	るため。						

1,200

4.024

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

6.502

4		也手术的60 200日11-001	7 0 ~ 170 17	****					
①平成29年度の計画		市道1号線用地取得、市道							
		49亏稼修止測重	計画事業費		予算額			決算額	Į
	②計画に対する事業実績	市道1号線物件調査及び不動産鑑			当初	60,005		H28から	0
		定委託、市道49号線修正測量		60.005 61.215			6.924	の繰越	
	③達成状況	未完了	00,003	01,213	補正		0,924	現年分	6,924
④未完了·非着手の理由	用地取得に至らなかったた			流用·充当	1,210		玩千刀	0,324	
	ライル・ディーの柱田	め。	平成30年度への)繰越額(単	位;千円)				54,281

事務事業名通学路整備事業会計 一般政策13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります担当課施策133児童・生徒の健康と安全の確保I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)	款				
政策 13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります 担当課 施策 133児童・生徒の健康と安全の確保 担当課金		項		目	多額経費
施策 133児童・生徒の健康と安全の確保 担当課金	10	; (5	1	O
	学学	校教	育	課	:
1 み某 み美内容(一東政東 ** たけり/ 字族 オスための ***)	፟ 関根 延年				
②①に たっぱがは、0.7月におばまたに、中へたばての古 改革・改善 も継続して実施する。	・度の要望に基づき、通学路 い、自転車講習会など安全 て実施する。				
基づく 取組み 転車安全運転講習会やスケアード・ストレイト自転 車安全教室も予定どおり実施した。					
Ⅱ 事務事業の目的・概要					
①目的 対象		心し	て	登	下
②事務事業の概要 第三次通学路安全対策推進行動計画に基づき、通学路の環境整	備を	·行う	5.		
③環境分析(事業開始 ドライバーへの注意喚起や歩行者のための安全施設を設置するの からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) の通学路における児童生徒の安全を図る。	とで	、登	于	校	時
Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況					
①平成29年度の事 学の成果 平成29年度の学区変更に伴った安全対策を実施し、年度途中の要望についても可能ができた。安全指導の面でも、小学校の自転車安全運転講習会やスケアード・ストレー施することができた。防犯面の対策として、通学路に子ども見守りカメラを17台設置し	(ト自転				
T # 02 T # 02 T # 02	算	<u> </u>			
②成果 指標名称 常成27 平成28 平成29 単位 年度 年度 年度		-			
②成果 有度 有度 年度 年度 年度 年度 年度 を表す i 学校災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 %	業	定板 務取			
②成果 年度 年度 年度 年度 年度	業	-			
②成果 指標名称 年度 年度 年度 年度 さ表す i 学校災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % 指標 ii iii iii iii iii		務取	又得	Ŧ	又合
②成果 i 年度 日本度		務取	又得	度	
②成果 を表す 指標 「		務取	又得	度	予算 ,000
②成果 i 特殊の割合 年度 日度		務取	又得	度	
②成果 i 特殊の割合 6.3 6.3 6.0 % 指標 ii iii iii iii ③事務事業のコスト 平成28年度決算 平成29年度決算 平成29年度決算(事業費)の主な内部 事業費(千円) 14,440 21,998 金額(千円) 内容 国支出金(千円) 18,956 工事請負費 県支出金(千円) 1,736 樹木剪定委託	7 平 5	務取	又得	度	
②成果 i 対検災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % 指標 ii iii iii iii iii ③事務事業のコスト 平成28年度決算 平成29年度決算 平成29年度決算(事業費)の主な内部 事業費(千円) 14,440 21,998 金額(千円) 内容 国支出金(千円) 18,956 工事請負費 県支出金(千円) 1,736 樹木剪定委託 市債その他(千円) 440 青色パトロールカー関係	7 平月	務取	又得	度 15	,000
②成果 i す校災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % 指標 ii iii iii iii iii iii ③事務事業のコスト 平成28年度決算 平成29年度決算 平成29年度決算(事業費)の主な内部 事業費(千円) 14,440 21,998 金額(千円) 内容 国支出金(千円) 18,956 工事請負費 県支出金(千円) 1,736 樹木剪定委託 市債その他(千円) 440 青色パトロールカー関係 一般財源(千円) 14,440 21,998 562	7 平月	務取	又得	度 15	
②成果 i 学校災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % 指標 ii iii iii iii iii iii ③事務事業のコスト 平成28年度決算 平成29年度決算 平成29年度決算(事業費)の主な内部 事業費(千円) 14,440 21,998 金額(千円) 内容 国支出金(千円) 18,956 工事請負費 県支出金(千円) 1,736 樹木剪定委託 市債その他(千円) 440 青色パトロールカー関係	不	務取成30	双得	15	5,000
で表す で表す で表す で表す で表す で表す で表が災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % で表す で表す で表が災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % で表す で表す で表が災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % で表す でままま でまま でままま でままま でままま でまま で	不	務取成300	文(年) 女 対	15	,000 ,000 せざ
で表す で表す で表す で表す で表す で表す で表が災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % で表す で表す で表が災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % で表す で表す で表が災害件数の割合 6.3 6.3 6.0 % で表す でままま でまま でままま でままま でままま でまま で	な対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	務取 成30 策で 6 6 8	双得 対 清 対	15 応・	,000 ,000 せざ 検証
20成果	な対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	務取 成30 策で 6 6 8	双得 対 清 対	15 応・	,000 ,000 せざ 検証
で表す	マックスを対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	務取 成30 (6) (6) (7)	双得 対 清 期 円)	15 15 15	,000 ,000 せざ 検証
2成果	マイマック マイス	務取 成30	双得 対	15 15 15	,000 ,000 せざ 検証
2成果	マ ネ ネ ネ ネ ネ ネ ネ シ シ シ シ に し 、 に し 、 に も は も に し 、 に も に し 、 に も に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に に し に に し に に に に に に に に に に に に に	務 成 30 で 6 米 長 千 算 8 か ら	双	15	,000 けざ 検証 な

平成30年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

	平成30年度 鎌	ソサリチの手	<u> 耒評佃衣</u>	(争俊)	(標準	<u> 汗ш衣</u>)			
事務事業名		児童生徒安全。	パトロール	トロール事業				款 項		多額経費
-1					***		一般		5 1	0
政策 	13人間性	生豊かな子ども	の育成環境	境をつ	くります	'	担当課室	学校教	育部	₩
施策	133	3児童・生徒の個	建康と安全	≧の確係	R		担当課室長	関根	延年	
I 改革·改善内容(ための方法	策)	1					
 で掲げ た内容 ②①に 其づく 	が年センターと情報表対策の必要な箇所を指 でいく。また、不審者付 るへ情報提供し、迅速 が市内全域のパトロー 不審者情報への対応	型握した上で、パト 情報等を得た場合 に見守りを実施で ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	③平原 度に取 改革・ 内容	収組む	共有し		青少年 路を中 く。			
Ⅱ 事務事業の目的	•概要									
①目的 対象	小中学校の児童	童生徒	意図(対象 するのか)				こめにst を図る。	安全なり	也域	
②事務事業の概要	市内の指定通 校時の見守りを		ごにおいて	、不審	者等に	対する	警戒パ	β ⊢ □−.	ル及	び下
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)	パトロールによ 全を確保してい		を目的とし	、下校	時の見	守りを	中心に	児童生	 徒の	安
Ⅲ 事務事業の成果	やコストの状況									
①平成29年度の事 業の成果	市内全域を12名 は、児童生徒の					と、夏何	ҟみ等0	の長期の	休業	の時
②成果	指標名称 平成27 平成28 平成29 単化 年度 年度 年度 年度 年度 平成29 年度 日本度 1 年度 1							艮拠		
を表す <u>i</u> 指標 ii	学校災害	件数の割合	6.3			%		業務取	7得	
iii										
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年	度決算	(事業費	夏)の主	な内訳	平成30		
事業費(千円)	17,759	18,093	金額(7				ΛΗ Γ.1Ω.	1 /5000		
国支出金(千円)						内容		1 /9000	1	8,721
					児童生徒	内容		1 /200	1	8,721
県支出金(千円)						内容		7,700	1	8,721
市債その他(千円)	17 750	19.002				内容		7,000		
市債その他(千円) 一般財源(千円)	17,759	18,093				内容				8,721
市債その他(千円)	,	不審者情報も多		18,093	児童生徒	安全パトロ	ール委託		1	8,721
市債その他(千円) 一般財源(千円) IV 評価・検討	下校時間帯のに対応していく i 市関与の妥当性	不審者情報も多 必要がある。 3高い	3く見られ、	18,093 . 学校 ⁴	児童生徒 つきかい つき かっちゅう おうしゅう おうしゅう おうしゅう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょ	安全パトロ	ール委託	連携し	1 て、i	8,721
市債その他(千円) 一般財源(千円) IV 評価・検討 ①課題	下校時間帯のに対応していく i 市関与の妥当性 ii 有効性 通学路の安全を	不審者情報も多 必要がある。 3高い 3高い 確保は、継続的	S S S S S S S S S S S S S S	18,093 . 学校 ⁻	児童生徒 ラ青少年 3高い 3高い	安全パトロ	マ 総合	連携し	1 て、i 精査・	8,721
市債その他(千円) 一般財源(千円) IV 評価・検討 ①課題 ②評価 ③上記評価の理由	下校時間帯のに対応していく	不審者情報も多 必要がある。 3高い 3高い 確保は、継続的 があるため。	Sく見られ、 iii 公平性 iv 効率性 iに行う事	18,093 . 学校 ⁴ . 業であ	児童生徒 ラ青少年 3高い 3高い	安全パトロ	マ 総合	連携し	1 て、i 精査・	8,721
市債その他(千円) 一般財源(千円) IV 評価・検討 ①課題 ②評価	下校時間帯のに対応していく i 市関与の妥当性 ii 有効性 通学路の安全で対応する必要が する事業等の「実 児童生徒の安全である。	不審者情報も多必要がある。 3高い 3高い 確保は、継続的 があるため。 <mark>運施計画」におけ</mark> 全確保のた	3く見られ、 iii 公平性 iv 効率性 iに行う事 たる達成状 平	18,093 , 学校・ 業であ 成29年	児童生徒 3高い 3高い 人名 関 度事業	安全パトロー	マ総合関と連携	連携し 評価 6 携し、臨	1 で、i 精査・ 語機応	8,721
市債その他(千円) 一般財源(千円) IV 評価・検討 ①課題 ②評価 ③上記評価の理由 V 多額の経費を要 ①平成29年度の計画	下校時間帯のに対応していくは、市関与の妥当性は、有効性のでする必要がある必要がある。 する事業等の「実験」のでは、 がは、できるのでは、 は、できるができる。 は、できるのでは、できる。 は、できるのできる。 は、できる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、できるのできる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	不審者情報も多必要がある。 3高い 3高い 確保は、継続的があるため。 (施計画」におけ 全確保のたの実施。 通学路を中心	S く見られ、 iii 公平性 iv 効率性 ic 行う事	18,093 , 学校・ 業であ 成29年	児童生徒 3高い 3高い り、各関	安全パトロー	マ総合関と連携	連携し 評価 6 続し、臨 位:千 決算 H28か	1 で、対情査・	8,721
市債その他(千円) 一般財源(千円) IV 評価・検討 ①課題 ②評価 ③上記評価の理由 V 多額の経費を要 ①平成29年度の計画 ②計画に対する事業実績	下校時間帯のに対応していく i 市関与の妥当性 ii 有効性 通学なる必要が がる事業等の「実 児童生徒の安全が が、パトロールを 継続的に市内が にパトロールを	不審者情報も多必要がある。 3高い 3高い 確保は、継続的があるため。 施計画」におけ 全確保のたの実施を中心 実施した。	び見られ、 iii 公平性 iv 効率性 iv 対率性 ができませる た行う事 ける達成サ 下る達成サ 下る達成サ 下る達成サ	18,093 , 学校・ 業であ 成29年	児童生徒 3高い 3高い り、 度事業 当初 H28>29編誌	内容 安全パトロ 年セング	マ総合関と連携	連携し 評価 6 続し、臨 位;千 決算 H28かか の繰越	1 で、対情査・機応円額	8,721 孔速 検証 変に 0
市債その他(千円) 一般財源(千円) IV 評価・検討 ①課題 ②評価 ③上記評価の理由 V 多額の経費を要 ①平成29年度の計画	下校時間帯のに対応していくは 市関与の妥当性は 前有効性 通学なする必要が がる事業等の「実 が、パトロールを が、パトロールを にパトロールを 完	不審者情報も多必要がある。 3高い 3高い 確保は、継続的があるため。 施計画」におけ 全確保のたの実施を中心 実施した。	び見られ、 iii 公平性 iv 効率性 iv 対率性 ができませる た行う事 ける達成サ 下る達成サ 下る達成サ 下る達成サ	18,093 学校・ 業であ 成29年 18,122	児童生徒 3高い 3高各 事算初 ^{128→29機越} 補正 ^{流用・充当}	内容 安全パトロ 年 セング 17,849	マ 総合 関と連携 18,093	連携し 評価 6 続し、臨 位:千 決算 H28か	1 で、対情査・機応円額	8,721 迅速 検証 変に

	3	平成30年度 鎌	ケ谷市事務事	業評価表	(事後)	(標準	评価表)				
車系	务事業名		学校经食運営	に要する経費						項	目	多額経費
 - 1.	カデネン		于 汉阳 及廷占	区女力的	州工 良			一般	10	5	3	
	政策	13人間性	生豊かな子ども	の育成環	境をつ	くります		担当課室	学村	交教	育課	
	施策	13	3児童・生徒の個	建康と安	全の確保	 杲		担当課室長	垣	岡 俊	度男	
I 改革	·改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方	·策)							
①前評場内でたる ②基取組果	(卵・乳・落花去を目指して要。 食物アレルを加えた除またした。	ギー対応の除: 生・えび・かに・ おり、今後更な ギー対応では を 食提供を平成	小麦・そば)除 る拡充が必 ル・乳に落花生	度に	成30年 取組む ・改善	消(鎌 校との	産鎌消 食育選 ギータ	食材)食材 携の にの() 	の加 取り	なたま 組み	さよて と、:	ブ学 食物
Ⅱ事務	事業の目的・	概要		_								
①目的	対象	市内小中学校	の児童生徒	意図(対)		食育を	通じて	食の力	と切り	さを付	云え	る
②事務署	事業の概要		交14校に対して 進を図るととも1					安定的	リに打	是供し	ال , ل	童
からの状況	う析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)		の良さ、豊富な の取り組みへの			の充実	や地産	崖地消 (鎌	産鎌	消)(か拡
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況										
①平成2 業の成身	9年度の事 果	学校給食を実施	4校児童生徒 施、②アレルギ・ /ター見学(23ク	一対応食	(除去食	ま)の提	供、③	栄養士	:1=	よる学	之校	訪問
②成果		指标	票名称	平成2 年度	7 平成28 年度	平成29 年度	単位		算	定根:	拠	
を表す	i		実施日数	18	-1			業務即				
指標	iii		応食の提供人 学対応人数	<u>蚁</u> 59	5 8 0 737		人	業務軍業務軍				
③重務国	I''' 事業のコスト		平成29年度決算			/	· ·			15	王度·	予質
事業費(-		903,222		金額(\ 	内容	, OL 10/	1 /	200-		3.351
	出金(千円)	000,	0.10,00.		440,431	給食用		購入				<u></u>
県支出	出金(千円)				63,672	センタ	一施設	(購入				
市債を	その他(千円)				40,864	維持管	理業	务 負				
	才源(千円)	903,222	849,631		291,634	運営業	終負 打	<u> 担</u>			856	3,351
<u>Ⅳ 評価</u>	<u></u> ∙検討											
①課題		ギー対応第3月	/ターにおける食 段階への準備期			:協議し			けた	:食物	かアし	ノル
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平f iv 効率f		3高い 3高い		v 総合	評価		7拡3	仓
③上記記	平価の理由		ー対応の除去 シり、落花生を加									
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「多	『施計画』におい									
①平成2	9年度の計画			計画事業	⁻ 成29年 ፟፟፟፟፟፟	度事業 予算額		犬況(単		千円 算額		
②計画に	対する事業実績					当初 H28⇒29繰越			H28	いた 3から 繰越		
③達成物	犬況				0	補正		0				
	・非着手の理由			平成30年度~	の繰越額(単	流用·充当			块:	年分		